

外来診察の御案内

平成28年4月1日現在

	月	火	水	木	金
第1診察室	北山	木村	吉岡	北山	菅原
第2診察室 (初診)	末宗(月2) ほか矢倉	米田	菅原(月1) ほか北山	木村(月1) ほか古川	金田(月2) ほか小林
第3診察室	舟橋	末宗	舟橋	東	米田
第4診察室	小林	西岡	小林	矢倉	木村
第5診察室	芦澤	菅原	米田	吉岡	西岡
第6診察室	岡田	古川	矢倉	金田	末宗
午後診	金田		東(初診)		
			金田(初診隔週)	東	

(注1)受付時間は、8:30~11:30です。(注2)家族相談、訪問看護、セカンドオピニオンも行っております。詳細につきましては、お問い合わせください。

(注3)再診の場合は、予約診療も行っております。

病院へのアクセス



病院バスの運行経路・時刻表

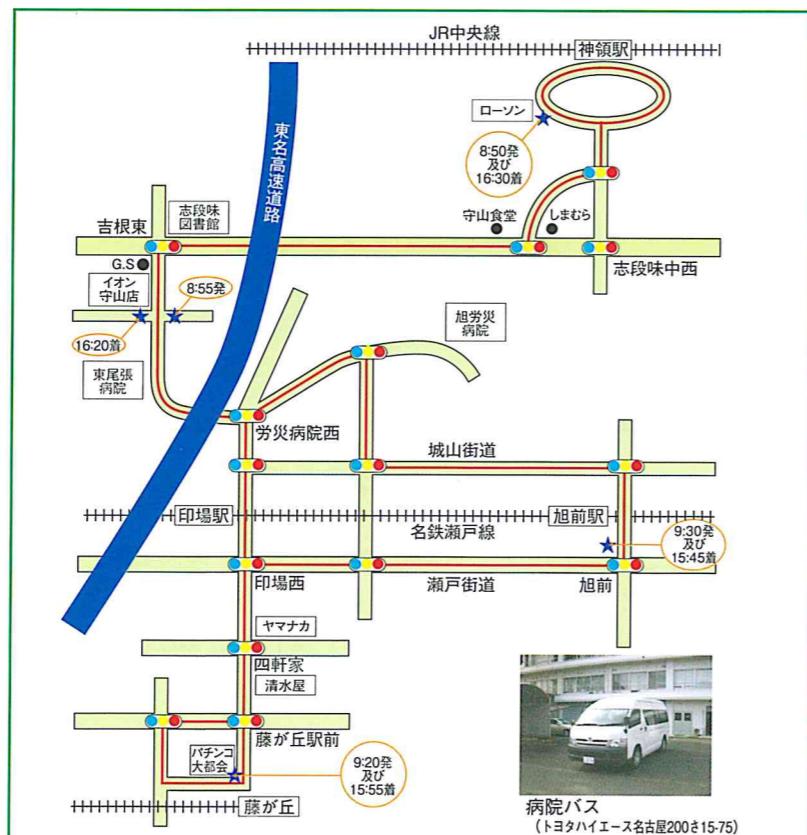
午前	午後
病院発 8:40	病院発 15:40
神領駅 8:50	旭前駅 15:45
守山イオン 8:55	藤が丘 15:55
病院着 9:00	病院着 16:10
病院発 9:05	病院発 16:15
藤が丘 9:20	守山イオン 16:20
旭前駅 9:30	神領駅 16:30
病院着 9:35	病院着 16:45

※土曜、日曜、祝日は運休します。

■病院マイクロバス乗り場案内

病院……当院玄関東側の車庫前
旭前駅……名鉄瀬戸線旭前駅ロータリー小川歯科前
藤が丘……地下鉄藤が丘駅西側のパチンコ店角
神領駅……中央線神領駅ロータリーのコンビニ前
守山イオン……イオン守山店南東側の高架下

※交通事情により多少遅れることがありますので御了承下さい。



独立行政法人
国立病院機構 東尾張病院 広報誌

ひがしおわりの窓

平成29年1月発行 第28号

基本理念

患者さんの立場に立ち、基本的人権を守り、より安全な医療を提供します。

年頭所感

院長 舟橋龍秀



明けましておめでとうございます。皆様には、どのような新年をお迎えになったでしょうか。今年は、酉です。正確には「丁酉(ひのと・とり)」という年です。少し調べてみましたところ、「とり」という語は、「果実が極限まで熟した状態」ないし「酒熟して気が漏れる状態」を意味していて、そこから、「物事が頂点まで達している状態」と表している語だそうです。その後、「とり」という音が似ている身近な動物の「酉」という漢字を当てたということでした。事の真偽はともかく、今年は、「頂点」を目指して努力する年のようにです。

精神科医療とくに精神科病院を取り巻く情勢は年々厳しくなっています。今後は、自院に求められている医療は何か、それに関してどこまでできるかということを常に念頭に置きながら進んでいきたいと考えています。当院では、従来から精神科救急・急性期医療をさらに充実していくとともに、認知症患者さんの随伴症状に対する対応も積極的に行っていくことにします。また、児童精神科分野では、現在のユニットを拡充し、児童精神科病棟を開設することを計画しています。まだ解決しなければならない問題は少なくありませんが、1月から西岡副院長をリーダーとする児童・思春期病棟開設のためのワーキンググループを立ち上げ、2017年度中の完成を目指して準備することにしています。

最後に私のことについて若干触れさせていただきたいと思います。私は、本年3月31日をもって定年退職いたします。振り返れば、殿村忠彦前院長が当時の県立城山病院院長に転出された後を受けて、平成12年4月に院長の職に就きました。以来、16年になります。この間、独立法人化、病棟の更新築、医療観察法指定入院医療機関の指定、当該病棟の建築等、いくつかのイベントがありました。それぞれ大変な思いをいたしましたが、なんとか乗り越えることができましたのは、職員はじめ関係各位のご理解とご支援の賜物と心より感謝申し上げます。4月からは新しい院長のもと職員一同が力を合わせて病院の運営に努めていただくことを期待しつつ、皆様には、これまで以上のご支援、ご協力をお願いして、私の院長としての最後の年頭所感を終わりたいと思います。本当にありがとうございました。



発行元 独立行政法人国立病院機構東尾張病院
発行責任者 舟橋 龍秀

ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~eowari/>

〒463-0802
名古屋市守山区大森北2丁目1301番地
TEL: 052-798-9711
FAX: 052-798-5554



新卒者新年の抱負



看護師
鈴木 晴香

4月から東尾張病院に就職して8か月が経ちました。

現在慢性期開放病棟で経験豊富な先輩看護師と共に看護実践を行っています。その中で、根拠を持ち患者さん中心の看護を行う事の大切さを学びました。知識・技術は未熟で、自分のことで精一杯になってしまふことが多いですが、患者さんの安全・安楽・自立を考え関わるよう心がけています。患者さんをよく理解し、気配りができ、寄り添える看護師となれるよう頑張ります。



看護師
山中 梨郁

昨年の今頃はまだ、国家試験に向けての勉強をしており、いつも問題集とにらめっこをしていたことを思い出します。試験に合格し、4月から東尾張病院で看護師として働き始めると、教科書には書いていないことばかりで、精神看護の奥深さを実感しています。まだまだ未熟な私ですが、患者様から必要なことを学び、今年は昨年より患者様とより深く関わり、信頼していただけるような看護師に成長できるように努力していきます。

病院クリスマス会を実施しました。

今年も東尾張病院クリスマス会が平成28年12月15日に実施されました。これは、毎年クリスマスの時期にあわせて実施されている当院の恒例行事ですが、常に治療的な視点を重視して実施するようにしています。そして、そのために入院、外来及びデイケア患者様を対象に「行事としての治療目的」と「関わる過程」を重視した取り組みを行っています。行ったことを以下に報告します。

まず、企画段階において多職種により構成されたレク委員会においてクリスマス会の治療目的を検討しました。設定した目的は大きく以下の4点に集約されます。1点目は精神機能の賦活です。季節感や楽しさ、期待感や満足感などを喚起し、精神機能を刺激することで精神機能を賦活するようにしました。2点目はコミュニケーションスキルの向上です。対人交流の場面を多く設定し、現実的な経験を通じたコミュニケーションスキルの獲得ができるような場面作りに努めました。3点目は役割活動をできるだけ設定し、それを通じた自己効力感の向上を促すようにしました。4点目は練習から当日の本番を迎えることで達成感を味わえるように努めました。

当院のクリスマス会のメインイベントは各病棟、デイケア、スタッフの出し物です。工夫を凝らした出し物に会場は盛り上がり、楽しい雰囲気に包まれます。舞台に上がった患者様、スタッフの表情は笑顔や必死にがんばる顔、緊張した顔など様々な表情にあふれています。それらの一瞬一瞬に様々な思いや感情が去来し患者様のこころは躍動しています。そして、又、メインイベントはその時だけではありません。その時までの過程で未来のクリスマス会を想像しながら日々練習を積み重ねてきたのです。みんなで協力し、支え合いながらの過程でもあります。それらの様々なこれまでの思いがクリスマス会の当日の一瞬一瞬につながっていきます。

当院ではこれからも目的と過程を重視した治療的な行事的レクリエーションの実施を通じて患者様の治療に貢献していきたいと考えています。



第35回 岐阜県調理師会主催の料理技術コンクールに参加しました。

栄養管理室 調理師長 西尾 重範

私は、調理師になってから早いもので37年が経ちました。下積み時代は、朝の暗い時間から家を出て、夜遅くに帰る修行の日々でした。辛いことが多い下積み時代でしたが、学ぶことも多くありました。また、先輩が作業をしやすい様に雑用を素早くこなし、いつでも自分が動ける状態でいることを心がけたことで、新たな仕事を与えていただき「挑戦する楽しみ」を感じる事ができた時代もありました。そんな若かりし頃の下積み時代があったからこそ、今の自分があるのだと年を重ねる毎に感じています。

その下積み時代から、参加しているのが11月16日に開催された岐阜県調理師主催「料理技術コンクール」です。私は第7回より毎年参加していますので、今年で28年目をむかえました。部門別に日本料理、西洋料理、麺料理、寿司、中国料理、仕出し、給食と決められており、私は日本料理と仕出しの2部門に出展しました。

このコンクールでは、毎年「課題」が与えられます。今年は「飛驒牛」と副材料には県指定の「飛驒・美濃伝統野菜」27品目から2品以上を使用するものでした。審査基準には、季節感、創造性、見た目や色彩だけではなく、岐阜県産食材の普及性も入っています。日本料理では、八寸、炊き合わせ、小鉢の3点のバランスと、ひとりで食べる適切な量であることが大切です。

私は、作る料理や食材の組み合わせをイメージし、その料理に合う器選びから始めます。直接陶器屋に行き納得いくものを選びますが、逆に器から料理のヒントをもらうこともあります。器選びは楽しいものです。出展する料理は、何度も繰り返し試作を重ねながら仕上げます。その過程はとても楽しいものです。この楽しみは、きっと料理人でないと味わえないと思います。しかし、コンクール前日は時間を忘れ準備に集中していたため、ほとんど眠ることが出来ず、楽しみと苦しみの両方を味わいました。

コンクールの結果は、全57作品の中から無事に上位の賞をいただくことができました。非常にありがたいことだと思っています。これからも体力の続くかぎり挑戦していきたいと思います。また、病院食においても自分の知識と技術を生かして、患者さまに喜んでいただける食事が提供できるよう、日々精進して参ります。



デイケア喫茶「オアシス」リニューアル

これまでご好評いただいておりますデイケア喫茶「オアシス」が1月よりリニューアルし新たな喫茶としてスタートとなりました。そのために12月中は休業と言う形となり大変ご迷惑をおかけ致しました。新しいデイケア喫茶「オアシス」では、注文方法やメニュー等に変更がありますが、より利用していただきやすいような方法になっております。ゆったりと落ちついた雰囲気でおもてなしができるように変更しました。ぜひ新しいデイケア喫茶「オアシス」をご利用下さい。

